

警鐘レポート4 気管切開術後早期のチューブ逸脱・迷入による死亡

事例11

<事例概要>

- ・肺炎、人工呼吸管理中
- ・気管切開術後2日目、帽子をかぶせた際に発語があり、呼吸器の接続不良アラームが鳴動。チューブが気管切開孔から1cm程度抜けたため、チューブを押し込むが入らなかつた。チューブからバッグバルブ換気ができず、経口挿管を試み、換気を開始したが皮下気腫が増大し、アラーム鳴動から約1時間後に死亡。
- ・死因：換気不全。解剖無、Ai有（気管チューブの先端は前縦隔に迷入）。